

# 「世界かんがい施設遺産」

## 源兵衛川の登録決定

国際かんがい排水委員  
員会(ICID、本部  
インド)は8日、タイ

・チェンマイで国際執  
行理事会を開き、三島

市の源兵衛川を「世界  
かんがい施設遺産」に

登録することを決め  
た。昨年は選から漏れ

て、再挑戦していた。

源兵衛川は、富士山  
からの湧水がわき出る

楽寿園内の小浜池を水  
源とするかんがい用水

路で、長さ約1500  
㍎。室町時代後期(16

世紀)に水田開発のため、この地域の守護代

だった寺尾源兵衛が開  
削にあたったことか

ら、その名がついたと  
言う。

1960年代、家庭  
雑排水の流入やごみ投  
棄でどぶ川と化した。

しかし、市民の間で環  
境保全に向けた取り組

みが始まり、現在は上  
流部は街中を流れるせ

せらぎとして親しまれ  
ている。

かんがい施設遺産  
は、価値がある施設を

認定・登録する制度で  
2014年度に創設さ

れた。源兵衛川は、三  
島市と中郷用土地改

良区、NPO法人グラ  
ウンドワーク三島(G

W三島)が連名で登録  
を申請。開削で一带が

水田地帯に生まれ変わ  
り食料増産への寄与が

明確▽富士山の溶岩を

使った石積み護岸が作  
り出す独特な水辺の風

景を維持▽市民・NP  
O・企業・行政などが  
地域協働で行う環境改  
善への取り組み―など  
の特徴を訴えてい  
た。

今回新たに5カ国25

施設(うち日本が14施  
設)が登録され、総数  
は8カ国50施設(うち  
日本が27施設)になっ  
た。県内では江戸時代  
の深良用水(箱根用水、  
裾野市)が14年度に登  
録されている。

三島市の豊岡武士市

長は「登録により、源  
兵衛川の歴史や有用性  
を再認識し、川を核と  
した環境保全や、市民  
協働の地域づくりが進  
むことを期待する」と  
コメント。GW三島の  
渡辺豊博専務理事は

「住民や行政の努力で

維持され、今も農業用  
水として機能している  
ことが評価された。光  
栄に思う。世界の宝と  
評価され、多くの外国  
人が訪れるのではと期  
待する」と話した。

【石川宏】



源兵衛川で水中の生き物を探る子供たち▽三島市で